

編集後記

▼先日真龍小学校で開催された人権教室におじゃましました！手品を交えながら人権を楽しく学べるハイブリッドな授業で、人権のすばらしさを再確認できました。
▼衣替えの季節がやってきましたね。私はフリースと靴下とスリッパで床から距離をとって、必死に寒さにあがっています。気持ちで負けたら風邪引きますよね。(安藤)

▼食育事業の取材では、中学生の包丁さばきの上手さに驚きました。というのも私がほとんど料理をしない人間なので、驚かされたのと同時に、なんだか恥ずかしくなりました。最低限の料理の技術ぐらいは習得しようと思います。▼上の取材中、調理室中にサンマの蒲焼きの美味しそうな香りが漂っていて、途中から取材どころではなく、お腹が鳴るのをこらえるのに必死でした…。(北本)

▼厚岸町表彰の受賞者の皆さんの顔写真を撮らせていただいた際に功績に携わってきた貴重なお話を聞くことができ、改めて厚岸の素晴らしさを再認識しました。▼第1回真龍中学校吹奏楽部定期演奏会を取材。私も学生時代は吹奏楽部でした。聴いていて心が温まる素敵な演奏で、数十年前の記憶がよくみがえりました。(芳賀)

ひとのうごき

●人口 / 9,242人 (-8)
男 / 4,371人 (-6)
女 / 4,871人 (-2)

●世帯 / 4,387世帯 (0)

●出生 / 1人 ●転入 / 18人

●死亡 / 12人 ●転出 / 15人

9月30日現在 ()内は前月比

■発行 / 厚岸町
■編集 / 総務課広報統計係
〒088-1192
北海道厚岸町真栄3丁目1番地
TEL 0153-52-3131
FAX 0153-52-3138

URL <http://www.akkeshi-town.jp>
E-mail soumu@akkeshi-town.jp
法人番号 5000020016624

間伐で未来につなぐ北の森
広報あっけしは、環境保護のため
道産間伐材と古紙を配合した用紙
道産間伐材使用を使用しています。

港町の『シーサイドインホテルあっけし』に勤務している檜山さん。生まれも育ちも東京の檜山さんは、縁があり昨年の8月半ばから厚岸で働いています。東京では、イタリアンやフレンチなどの洋食を作っていたとのこと。「もともとと海産物が好きで、厚岸は1年を通じてさまざまな旬の海産物があり、いい状態で料理できること、生産者の漁師さんたちとの距離が

近く、交流できることがうれしいです。また、厚岸で出会う人は皆さん優しいです」と檜山さん。「厚岸では日の目をみない魚介類がまだまだあります。淡泊な魚でもひと手間加えると主役になれる食材があります。厚岸の素材を活かした料理を是非食べにきてほしいです。予約をいただくと準備ができるのでうれしいです」と笑顔で話した。

Close up - クローズアップ -



厚岸のことが大好きです
檜山 恭平さん (32歳)

#あっけしの暮らし

厚岸町公式 Instagram

フォローをお願いします!

9月21日から10月21日までの投稿で、『いいね!』が一番多かった投稿をご紹介します。この投稿は、120件の『いいね!』がありました。



Instagram post by akkeshi_no_kurashi

10月5日から14日まであっけし牡蠣まつりが子野日(ねのひ)公園で開催中です。秋晴れの中、会場は炭火で焼かれた牡蠣のいい匂いがします。今日は牡蠣のつかみどりなどのイベントが行われました。
#あっけし牡蠣まつり
#厚岸
2019年10月6日

厚岸町公式フェイスブックでもInstagramの投稿を見ることができます!